

太陽光発電施設について



飯田 洋司
議員

質問 太陽光発電事業を計画しているが、本事業の予算、管理及び収益の用途はどのようなになっているのか。

答弁（総務部長） 大山地区太陽光発電施設は、一般の臨時議会で議決された電気事業会計内で扱うことを基本とする。初期費用につ



再生可能エネルギーの促進を

いては、電気事業債を充て、借入金の償還費、管理費、事業終了後の施設撤去費用の積み立ては、売電収益を充てることで検討を進める。施設の管理・運営は、生活環境課で進める予定である。収益の計画として、村内の公共施設、また街路灯の電気料金の軽減を図り、住宅用太陽光発電設備、その設置補助金制度を新設するなど、再生可能エネルギーの住民理解を深め、利用拡大につなげていきたい。

自主防災組織について

質問 災害時における各地区での自主防災組織の本村の組織率は。

答弁（総務部長） 本村行政区は56地区ある。地区が



安中地区を対象に行われた村防災訓練

自主的に防災に関し、消防署や地元消防団の指導を含めた訓練等を実施している地区は、牛込、花見塚、登宿、大山、下舟子、見晴台の6地区374世帯である。平成25年の新規地区は、JRA美浦トレセンの1地区1, 233世帯で、先の6地区とあわせ1, 607世帯となった。平成25年9月末の組織率は23・46%で、本村は低い数値となっている。今後、区長会等を通して、地元消防団との連携協力を得ながら、啓発活動を含めた組織率の向上を目指したい。

ペーパーレスについて

質問 ペーパーレスを進める上での問題点などどうう。

答弁（総務部長） 不変な課題として、セキュリティ対策が一つ目に挙げられる。具体的にはデータの機密性や漏洩といった不正アクセス・個人情報保護等の違法性についての課題、有害情報やウイルス等のインターネットに潜む課題などで、この対策にはこれに係る費用のほか、セキュリティポリシー等といった運用上のルールの規定、遵守といった経済性・利便性について、制約がかかる。二つ目として、情報・データを管理していくために必要となる知識や能力、それを習得するための個人格差、世代間格差などの解消が挙げられる。これらの諸課題については、セキュリティ対策の強化及び各種研修等もあわせて検討する。